

魅力ある学校づくり協議会(板橋第九小・中根橋小・板橋第一小) ニュース

第1号

発行日：平成 27 年 3 月 6 日

開催日：平成 27 年 2 月 19 日

発行：板橋区教育委員会事務局

新しい学校づくり担当課

学校配置調整担当課長

電話 3579-2090

教育委員会では、老朽化した学校施設の整備計画と児童数の適正規模・適正配置という2つの課題を解決していくため、平成 26 年 2 月に「いたばし魅力ある学校づくりプラン」を策定いたしました。板橋第三中のエリアには、小規模化した小学校があり、「いたばし魅力ある学校づくりプラン」に基づき保護者の代表の方々や地域の方々とは話し合いを重ねてまいりました。

このたび、「板橋第九小」とその近隣校である「中根橋小」「板橋第一小」の関係者の方々及び地域の方々による協議会を設置し、子どもたちの教育環境を充実させていくための協議会を始めることになりました。

つきましては、平成 27 年 2 月 19 日（木）に板橋第九小で準備協議会及び第 1 回協議会を開催しましたので概要についてお知らせします。

教育委員会挨拶（抜粋） -寺西教育委員会事務局次長-

これまで、学校や地域の方々と意見交換を重ね、板橋第九小、中根橋小、板橋第一小の3校での協議会が充足することになりました。教育委員会では、学校施設の改築・大規模改修に併せて学校の適正規模の確保という2つの教育環境の課題を解決するため、昨年2月にいたばし魅力ある学校づくりプランを策定しました。今後、協議を進める中で、皆様方から統計や資料の求めがあれば提示してまいりますので、よろしくお願いいたします。

協議会名称

「魅力ある学校づくり協議会（板橋第九小・中根橋小・板橋第一小）」と決定しました。

協議会会則

魅力ある学校づくり協議会（板橋第九小・中根橋小・板橋第一小）会則が決定しました。会則については板橋区ホームページでご覧になれます。

協議会会長

高田雄彬委員（町会連合会仲宿支部長）が、協議会会長として選任されました。

協議会委員をご紹介します（敬称略）

協議会は、3校の保護者（PTA）、地域関係者、学校関係者、学校長、小学校 PTA 連合会長、教育委員会事務局次長等で構成されています。

	氏名	役職
(1)区立板橋第九小学校関係者		
1	力 武 範 英	板橋第九小学校 PTA 会長
2	鈴 木 千 春	板橋第九小学校 PTA 副会長
3	斉 藤 真 澄	板橋第九小学校 PTA 前書記
4	内 田 一 壽	地域開放協力会会長、板橋第九小学校元 PTA 会長
5	阿 部 勝 博	学校支援地域本部コーディネーター、板橋第九小学校元 PTA 会長
6	赤 木 勲	板橋第九小学校校長
(2)区立中根橋小学校関係者		
7	高 田 由 美	中根橋小学校 PTA 会長
8	櫻 井 悦 子	中根橋小学校 PTA 前副会長
9	亀 井 うらら	中根橋小学校 PTA 会計監査
10	田 邊 和 子	中根橋小学校スクールガード、民生委員
11	角 田 仙太郎	中根橋小学校子ども見守り隊、中板橋町会副会長
12	倉 島 民 雄	中根橋小学校校長
(3)区立板橋第一小学校関係者		
13	榎 本 久 晃	板橋第一小学校 PTA 会長
14	春 日 里 美	板橋第一小学校 PTA 副会長
15	浦 野 真 理	板橋第一小学校 PTA 副会長
16	石 田 律 子	板橋第一小学校 PTA 副会長
17	【平成 27 年 4 月に選任予定】	
18	中 川 久 亨	板橋第一小学校校長
(4)板橋支部(通学区域:板橋第一小学校)		
19	吉 島 輝 雄	板橋四ツ又町会会長
20	松 澤 一 記	大山東町会会長
(5)仲宿支部(通学区域:板橋第九小学校、中根橋小学校、板橋第一小学校)		
21	高 田 雄 彬	町会連合会仲宿支部長、稲荷台自治会会長
22	今 井 庸 介	氷川町会副会長
23	渡 辺 幸 雄	宮元親興会副会長
24	野 口 啓 二	栄町自治会副会長
(6)仲町支部(通学区域:板橋第九小学校、中根橋小学校)		
25	伊 藤 登喜枝	仲町町会総務部副部長
26	高 田 修	中板橋町会会長、青少年健全育成仲町地区委員会会長
(7)富士見支部(通学区域:板橋第九小学校、中根橋小学校)		
27	鈴 木 忠 志	愛染自治会会長
28	松 瀬 徳 幸	双葉町氷川自治会会長
(8)区立小学校 PTA 連合会		
29	山 崎 政 次	区立小学校 PTA 連合会会長、板橋第六小学校 PTA 会長
(9)板橋区教育委員会事務局		
30	寺 西 幸 雄	教育委員会事務局次長

第1回協議会内容

事務局からの説明事項として、(1) 学校の適正規模・適正配置について(2) いたばし魅力ある学校づくりプランの概要について、(3) 「板橋第九小」「中根橋小」「板橋第一小」の3校での協議会となった経緯について(4) 平成27年2月7日に開催した保護者・地域説明会の概要報告を行い、その後質疑応答や意見交換を行いました。

委員：本日の配付資料の中に詳細な通学区域別の子ども的人数（年齢別）が入っていませんでした。今後、詳細な資料を提出してください。板橋第九小・中根橋小・板橋第一小ともに通学区域の人数はあまり変わらないはずなので確認したいと思います。

事務局：今回は、用意していませんでしたが、次回の協議会で提示します。

委員：資料の中に平成26年度の板橋第九小の1年生が30人となっています。平成25年度は、6人だったのが、1年後は30人になったのでしょうか。また、先ほどの説明の中で児童数が減っているとの話があったので、これは閉校になってもやむを得ないと感じましたが、平成26年度は、30人も児童がいることについては、説明がありませんでした。今後は、どんなこともオープンな形で資料や説明を行ってください。

事務局：30人になった理由については、その年の通学区域の子どもの数が多かったこと、他の学校を希望したが抽選の結果板橋第九小に戻ってきた方や他の通学区域から板橋第九小を希望した方が例年より多かったことが要因です。データについては、積極的に提供していきたいと考えています。

委員：仲町地域から板橋第九小に行く子どもたちが、少ない状態です。自分の学校が無くなってしまう雰囲気を持つことは、とても悲しいことだと思います。説明を聞くと最終的には、どこかの学校を無くそうとする雰囲気がありますが、それは決定事項なのでしょうか。地域にとって、学校は大切なものであり、私の周りの人たちからは、学校が無くならない様に頑張ってもらいたいと言われています。板橋第九小は、校長先生を始め、先生達が熱心で真面目な学校です。そんな学校を無くすことはいいのではないのでしょうか。

事務局：ご質問の内容は、この協議会の中で決めていくことだと思っています。魅力ある学校づくりプランは、今後、学校を改築する場合、周辺校と統合のうへ改築を進めていくこととなっております。一方、この地域の意見で必ずしも改築を必要としないとの意見も多くいただいておりますので、学校を統合のうへ改築するプラン以外の選択肢もあると考えています。また、学校が地域の皆さんに愛されており、コミュニティを育む場となっていることも理解しております。板橋第九小は、地域の方々の支援と教職員の努力で良好な状態であり、小規模校のメリットが強くて出ていると思いますが、これ以上小規模化が進むと、小規模校のデメリットが出てくるのではないかと懸念しています。

委員：全体の説明を聞いていると子ども的人数が減ってきており、都会が過疎化していると感じました。30年後には、24%減少する予測とのことなので、今回は、3校で小規模化した学校について協議をするとの話でしたが、こうした問題は、板橋区全体で起きることだと思います。平成24年度の答申の基本的な考え方の中に「適正規模を下回ることが直ちに教育環境上望ましくないと断定できない」と書いてありま

す。今後、小規模化する学校は増えてくると思うので、単純に統廃合するのではなく、小規模校の良さという教育的な魅力を見つけていく必要があるのではないのでしょうか。例えば、島根県の学校では、小規模化した学校を学校教育のあり方を変えたことによって子どもたちの数が増え、地域全体の人数が増えたとの話を聞いたことがあるので、魅力ある学校とはどんな学校なのか、1年間の協議会の中で協議していききたいと思います。過疎化した学校の事例も取り上げてください。

事務局：今後、教育部門を担当している教育委員会事務局の部署も参加するので、そういった教育的な協議もしていきたいと思います。

委員：「いたばし魅力ある学校づくりプラン」の中には、板橋第九小・中根橋小・板橋第一小の学校別の児童数の将来予測が掲載されていましたが、先ほどの説明の中ではその部分が板橋区全体の数値となっていました。「魅力ある学校づくりプラン」の中の児童・学級数の将来予測等の資料は重要だと思うので、きちんと提示してください。

事務局：今回の説明の中では、板橋区全体の数値を使用していました。次回の協議会では、その児童推計が掲載されている「いたばし魅力ある学校づくりプラン」本編を配付します。

委員：「いたばし魅力ある学校づくりプラン」の板橋第九小・中根橋小・板橋第一小の学校別の児童推計については、計算方法の間違いについて指摘したところでした。以前、教育委員会から計算方法を見直したものを提出してもらったことがあるのでそちらも資料として提出してください。

事務局：次回の協議会にて、詳細な児童推計に関する資料と詳しい計算方法についてご説明をさせていただきます。

会長：私ごとですが、板橋第三小の出身です。区の適正規模適正配置審議会にも委員として参加し、板橋第三小の統廃合の際には、保護者の方々とも意見交換を重ねました。保護者の方々からは、「子どもたちが集団として活動できるようにしてもらいたい」「単学級では逃げ場がないのでクラス替えを出来るようにしてほしい」「少人数の方が先生との距離が近くて良い」「アメリカの学校のように少人数だっていいではないか」といった声がありました。私にとっても母校であり、無くしたくないという気持ちも強かったのですが、話し合いの結果、稲荷台小と統合となりました。この協議会でも子どもたちの未来のために何が良いか皆さんと真剣に協議を重ねていければと思います。

次回予定

平成 27 年 3 月 17 日（火）午後 6 時 00 分から午後 7 時 30 分まで

場所：中根橋小学校

※月に 1 回程度開催する予定です。

協議内容予定

- ・板橋第九小・中根橋小・板橋第一小の現状について
- ・今後の児童推計について

発行元 板橋区教育委員会事務局 新しい学校づくり担当課 適正配置第二グループ

電話 3579-2090 FAX 3579-4214

※魅力ある学校づくり協議会（板橋第九小・中根橋小・板橋第一小）の会則・協議会ニュース等は、区ホームページからご覧いただけます。

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/067/067580.html